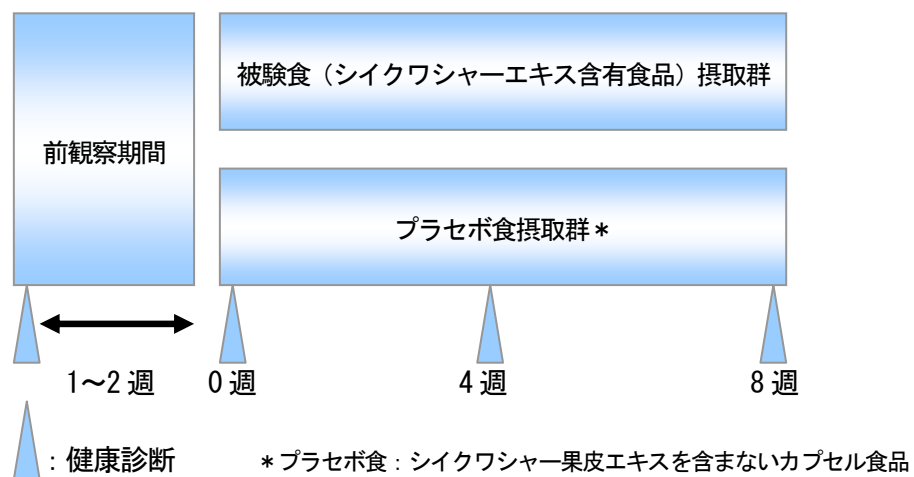


シイクワシャー果皮エキス含有食品のヒト試験研究内容

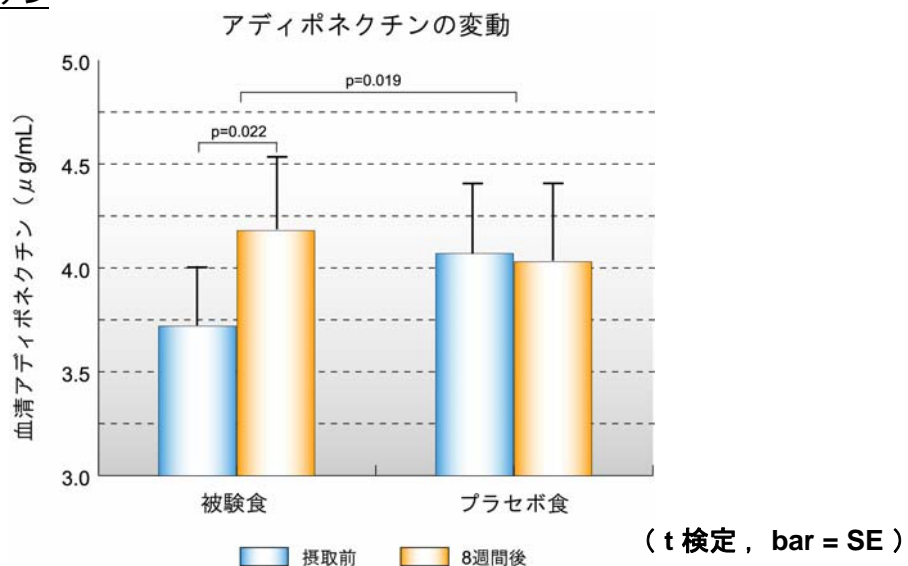
方法

- ・試験デザイン : ダブルブラインド並行群間比較試験 (プラセボ食摂取群を対照としました)
- ・被験者 : CT による計測で内臓脂肪面積が 100cm^2 以上の成人男女 32 名 (男性 27 名、女性 5 名)
- ・年齢 : 42.3 ± 10.9 歳
- ・BMI : 29.2 ± 3.8 kg/m^2
- ・内臓脂肪面積 : 143.5 ± 38.1 cm^2
- ・被験食 : ハードカプセル食品 3,300mg/日 (シイクワシャー果皮エキスとして)



結果

・アディポネクチン



摂取前から摂取 8 週後の血清アディポネクチンの変化は、被験食群 ($n=16$) が $3.7 \pm 1.2 \rightarrow 4.2 \pm 1.4$ $\mu\text{g}/\text{mL}$ と有意に増加し ($p=0.022$)、プラセボ食群 ($n=16$) は $4.1 \pm 1.4 \rightarrow 4.0 \pm 1.5$ $\mu\text{g}/\text{mL}$ と増減しませんでした。群間の比較においても、被験食群の変化量はプラセボ食群のそれに比べて有意に高値でした ($p=0.019$)。

まとめ

シイクワシャー果皮エキスは内臓脂肪型肥満のヒトの血中アディポネクチンを増加させ、メタボリックシンドロームや動脈硬化性疾患の予防に有用である可能性を見出しました。

語句説明

1) シイクワシャー

沖縄特産のカンキツのことで、学名は *Citrus depressa* HAYATA です。シークワーサーとも呼ばれています。果実の平均的な大きさは短径 3cm、長径 4cm の楕円形です。主な使用用途としてはジュース原料ですが、近年その用途は拡大しています。

2) ノビレチン

カンキツ類に含まれるフラボノイド類の一種です。フラボノイドの中でも複数の水酸基がメトキシ基に置換されたポリメトキシフラボノイドに含まれます。カンキツの中でも特に、シイクワシャーに多く含まれ、抗ガン性、抗アレルギー性などが報告されています。

3) アディポネクチン

脂肪細胞が分泌するアディポサイトカインの一つで、インスリン感受性を改善させて抗糖尿病作用を示し、血管に直接働いて抗動脈硬化作用を示すことが報告されています。

4) ダブルブラインド並行群間比較試験

臨床試験の方法の一つです。「ダブルブラインド」とは、被験者本人も臨床試験のスタッフも被験食かプラセボ食かのどちらを摂取しているのかを伏せて試験をする方法のことです。「並行群間比較試験」とは、今回の場合、被験食群とプラセボ食群の2群に分けて同時期に一緒に臨床試験をして比較する方法のことです。非常に信頼性が高いと認められている方法です。

5) 日本動脈硬化学会

1972年動脈硬化の成因、予防、治療を研究する目的で約100名の研究者が集まり研究会を設立し、1974年、学会として発足しました。動脈硬化について、基礎、臨床の分野からのみならず、栄養、統計、農学等あらゆる分野の人々が集まり、動脈硬化の成因を探るとともに、その予防、治療をどうやって進めていくかを研究することを目的として活動している会員数約2,200名（2005年現在）の学会です。